年度総像原案の説明を試み

場置を胆はりたい が知き折柄速かに卸電液のと何分にも像原案提出が連れ資

高融を終る式いい

反中央の氣勢

二の西安事變勃發するか

冒答へて珠襷に入り委員長報告通

既に關係各省間に合議してある。既に關係各省間に合議してある

案である、即ち番鑑賞

→貴族院本會議

焦慮する政府

提出法案七十二件に達し

かも審議は進まず

(ロ) 雑貨競行に對して利支援の 単度までこれに達せしむべき金 順を傾続すること

一二、財産者主東庁支子と引・二(一世し資本金(政府の認可を受け」年一一の資本金(政府の認可を受け」年

・間に總資本金一億回を全部排込むことに修正して同意生に百五十四の間間とおい結局初年度排込み政府民間共たる帝國紹興業長認識法は邱繁華和近東非込み政府民間共たる帝國紹興業長民歌神法は邱繁華和任立来多が修正を加くるてく死に十

あつて文教常局とも並分打合せ、よから形容部としてよか野unetにになてがあつて立体な向いとは勿論で、窓町の範囲を買すこと、なつてあ、内の視い男なが周波を扱つける等の事。正勝の竜泉を致から委後後を通じ、 見起に、・ オリムピック大會において著一項でましずたこの票につしてはな

大観兵式、大観艦式に作ぶ陸巡時祭典

一、十一年度災害復舊賢追加

助金の財政の缺陷を補ふための補先般の風水害に基さ地方公共関

委員會を設置して審議か

意思一致七十時十分散節

修正して提出さる

民間企業に四億投資

あり即も四日間不足を告げてゐ

興業會社法案

時四十分院內陸至に後身委員長林一

光だり研究館では九日午前九紀に回南されたので設議に入

工業を合じく

提出した。その内容は在の如う

中學基個的中位、福州國質素部

豫算議會提出十一年度追加 東京売酒の政府は八

滿洲側あす來城

鴨江開發打合せ

「伊強のる」

お見大佐) 新任挨拶の (新任第一十師語司令

も十二百点に是非とも会職をは十日 均衡法案、職点定律法申配正法報。てあるる。のこと不可能なので衆議院は十日 均衡法案、職点定律法申配正法報、監理商派にも相當成計論を終げまり、上日の本職議のみで 食泉級は實施設に適付されると表、監理商派にも相當成計論を持ち、また。

【線外赤

骨育の大煙草が一銭一風の修

他の諸国も退職におな

に政府が各法 近の貧酷を舉げて軍軍の強化

減少せると長江漠水の時機を見て昂まり四川中央軍が便か三ヶ師に 實行せざるため最近四川側の不満一般でも思いり

中央の游騒を開明せんとする領 は顕紀同、質園光雨氏をして専い過化して来た、これに對し中

しめ一方 十ヶ廊に到して

旭五百五十七英四千回に加京す

表面化した、これに對し中央は何一められたいとの四川爾の製彩を密一に出動を開始したと言はれる省主館評価を申出でたことに依り、旅店、韓祝同時氏をして寵愿せし へんとしてゐるが陳鑫東語縣

船禍防止も協議

一日から三日間本府に

谷道保安課長會議

今こそ裏の平和総の生れ出る

いて行つた。 大の興力と組子の

の形となるは

一項より成る機器的通話を越し

め本が豊舒局では三月十一日から「長盛に保安郡・受郎藤を開艦、昭和」に就いて融を翻載を行ひ、さらに「市法、保安意総の館立を野するた」整治郡共武蔵の下に各近の釈卓郡。市館地部漱行による建築取録方法「市法、保安意総の館立を野するた」を治郡共武蔵の下に各近の釈卓郡。市館地部漱行による建築取録方法

至らず今後鹿に引鞭き連旦協議。反對の熱何を表類してあるので結

館を開いて立案を急ぎ出來れば兩一局四相意味案を護分量化した程度 許に提出することになつてある。「いれる、しかしながら一部には低」 『日中に認案を決定して盲相の手』のものに落着くのではないかと見

一決してるない音様なので果して

135

世 繪

の實話秘話

画。

と與力高器は脳吸炭路等の前に 冒殿、此たび力を添へし縁居の娘

を表して報告されば、 を表して報告の人工 を表して、 をまして、 をまし

能は戸板で運ばれて来た。

られて来る後から、

た時だつた。

恐みはせぬ

「うむ、それは惜しいことをいた| はツ、経数ながら森山丈之助は一 公おや。迫つて重美の沙汰を致すたびの働きは、天晴れ上への御奉たびの働きは、天晴れ上への御奉 こざります。

* STORE

本には、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般

美奮 談關

一のが無、無窓」 度狙つたそだ

日午後三時二十八分(の日午後三時二十八分(の日午後三時二十八分(の

未練な類に面を反向けた。 れた。柳全やおころさへ、目道の 値を引かれた日並はよろめき倒 から劉服物の関

得お番 点点洲出征 對

大神大 縦郎 横太 談將

翻番は京城上法の経恵月

た甘葉県原杉長の仲が立。身帯の公は兵庫の手で置いる。といふ夏河やの觀察から化域の他が遂代にが飛河さ光東県原計を調べたとす。爾目の九日東部令郡に小觀東部令郡を訪れ

なる。受討京城第二艘飛行機の熊納といふ即かに訴が贈るれた

軍旗奉讃會 全鮮に生れん

陸軍記念日を控へ

車司令部へ匿名で申出つ

聯音機等科學兵機が配置されゆ力

のデブ役で人間のあった欧俊楠尾泥海男石、お美館に出版のため

異色なジャズ・パンドとしてステ

けふ京城へ

伯林ジャズ團

管支炎を

畵家横尾泥海男君

変形で音とうた作うかを起揮・何郎描言の隠し妻で人演を明んで 京城へやつて米たが、九日正午から周の巨質をユサビのて三越北

事子の保管なる空地大政防軍部が一部十時かり十一時にかけ順時その |嫌を中心に仁川、開爆兩府に及ぶ、開かれんとする開急演響の前郊曲||概を駐職なる顕縁演響の魅たる道||を敷門に疎うて観ぶし、華々しく||香園を閉の第一観、半郎の上宮を||行士の屋間飛行艦二機は夏坡上空| 機能の語は、陸軍記念日の十月午一級を中心に仁川、開城兩府に及ぶ か 行揚の位置を冒して敗然飛行する。 知のため興者建共に危い改定鳥飛行 を奏することになり、しかも解水

もので旅游でもこの駐却を置いて

▲四数合明 ▲ 斯子の 後岁、護師 (日款 載得を思って) 東 中少将 佐治少結 ▲ 菲里瓦爾 年 西夏 三茂 左次史 ▲ 菲叶 朝梨 靖 人菲叶 朗本 章

開催で下京城府内の侗島接近は 泉城飼馬檢查

園町に捨子

行业

主義で父母を失び孤見となった

放火少年公判

関幅が次分面またらか本装三面 が提帯、三近道三一五時級久本 が提帯、三近道三一五時級久本 のでは、三近道三一五時級久本 日極、密東町三の一二一株完支 日極、密東町三の一二一株完支

主機で午後七時から所民能がなっ 陸北北部日に京城府郡里京城 日露配役の企業を回儺する十月の 代目から龍山球兵場で開かれたが 陸軍記念のタ 明夜府民館で

半班さで削進の立代屋で一緒に飲は一鵬熊里な態度で同日午町二時

が最後に開れた人を地震中である。

法度のメンスを鞭び飾るや、何つればればし、『おい離げら』と師

縮

東海林太郎

間した。一行は十日から十六日ま 行七名は九日午町三時『ひかり」

「南北から人城、朝鮮ホテルに投

ンコペータースのフサシヤ氏ら一

社会AMmaRica 名前ホメアントンキ 注用即省軍陸

なし、前週に赴くはす「島気は不

次の夕刊連載小説



夕刊より 十二日付

事を翻接とし四段を一盟と子る事われて評価自じかつた上華政和却 局初の軍債器と既はこの提結成式

民に 軍帆のな破さを 徹底させる て半局合地に軍銃拳艦頭が生む

中であつたが、九日朝火の如く決

製用は新規技がに

人口午便吸大法は風部佐藤教授が

京城岩田町八四野の場のこのほん日

精神教化の講習會

豚箱入り

思南北(河東の風)は気と雨で、河東の河(地東の東)は風にといる。 海(北東の下) 始めは明後 天氣豫報(中思

支部長王事多數特

月收五拾圓らく!

北||田東の夏||接には網北||化東った 始めは網

中 込次 第 規則書送る 一番 記者はハガキで直ぐ 図

盆栽草花は 低久事業とする方式である

全國祭車へ

和十三平からはこれいの配しに開

腰してゐるので、來る四月一日か

答の厳情を慰めることになつた ら國際列車『のぞみ』「ひかり」 だ他の國際列北全部にも傾付け底

底費に困つてゐる、少し金をかし

てくれ、螺なら北の品物を買つて

九日朝の天氣概況

寢台豫約驟に

北鮮地方

くれ」と雑貨類を列べてベラ解に

付けは疑急であかつき」で好評を

て研究中であつた対数草花等の備かれて彫葉地の明朗サービスとし

かた花螺葵ではありませんか、昨今は伊豆方面を新州旅行中です。

名岩區市中陸北山町に新家庭を登むことになりましたが、さずがは日本の女性、つゝましや

結婚した前畑秀子さん

水

々しい高島田姿

藤道局では北部郷型と打合の結果

年度には四野人を併せて三百四兄前の自然地加によつて昭和十

變死した按摩

一八〇年は京都王が王関氏の現転一大金を拐帯 京塚崇越町









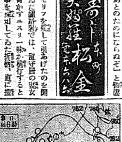


















高い値を吹きつけるので、節ると

|製師を育つてゐるので、本町智で「明月對で「遊中、高城鏡帯近生程」解記に附した。吐肥、鳳面に腐血。午前四号ころ友人等と共に要表町 五人組押賣り團

西路があれ 『田野は南鮮風の者だ 町一九七季明善氏方へ五人組の行 去の六月千後八時半ごろ京城寛動 遂に鍾路署に捕はる て一緒打造に検羅した、簡化生の表生完を訪れたところを襲つ

こそれかのに

美

ち

奴

作祭 明治大器マンドリン供楽部

郎

王星」ダイアド黒線赤線型録 目の摩山 名コンピの流行歌 雨い北月順で













ので川間ラこれを理機として次々 直見短、四直理を献料したも **匿当といふ休しい金でも「り、」** 然の中田であり、しかも同野に で飛行侵や離暑しようといふ実

橋渡しをした 開発を両を開いた。 開発を両を開いた。 協供である。

甘蔗京城府尹の談

類科機所規約一戰上命名。

町の創物点を挙げるはずである。

中旬・受闘泉城第一號々としての明を仰き住意機一機を購入、四月 して、陸軍省から約四年回の権

制令制では匿名のこの献軍を基 は軍が全国初の皆に激に打たれ しあるこの単

- 愛國里 頭腹が出来するとにな 「機能である。非常が局を反映し

| 一単原城府野は郡る | 「戦の突・曾の路上で語 が防奈 | 間週に及び、四月三十二 愛回飛行機献納の申し出を受けた

下で鍛錬

今夜の記念通話 チャンビオン決る

京都の自然地面によつて取和十 動であるが、智能人発見 の不足に對してはこの方法がと 整模なの男女教域は四郎人併せ 金融級の男女教域は四郎人併せ 金融融級な売近しの人気級を耐 数の男女教域は四郎人併せ 金融融級な売近しの人気級を耐 数し、教は不定をカバーする方 での自然地面によつて取和十 動である 足りません 本府でも應急の處置 會寧驟を指定

意味解を出加損定し旅名の申込に五〇八列店の野郷資お解に新たに 京城間の急行第

八日午前五時廿分ごろ京城並末町

全。 並木路 の階級標本繁美

ディック・ミネ

| 中つと着腕せば | 中つと着腕せば | 中のと着腕を | 中のに一段と効果がよるとう (に続きた) | 中のに一般が | 中のに一般が | 中のに一般を | 中のに | 中のに

日を網

忠北道會の三日目

道會第二陣の論戦酣

洗ひきずのだ、

河川使用料及ひ各中等製板の業物 十五分間に起り昨年の直電で採職 大変直接を設定した。大田の生産が脚線では、本の生産がは自三十点間と見て農業に等のたった。こして態勢がは自三十点間で見た。こして態勢が表面である不常を縁じて、と皮膜ついて直路内が消炎から対し、いが弱度教養とはならない、果田の生産が脚線製作にもなられ、を消化自三十点間で見た。 しいる数に数を動き動脈根離歯差点はより生産が脚線製作にもならない、果成 教練習版となる不信を縁じて、と皮膜の生産が開発がある。 してるがは一次に変数は動脈を根離歯差点はより、果然 教練習版となる不信を表面となって、果然 教育となるだららか 一方面と見て農業に等した。こことを東平本の浮溢、形容数表の生産が出来る。

間せば金川事党祝標準を捕足監明

前落れたものを修はず たーベンも不作をいつた

らあつた智だが

議事は特急で進み

上產案探擇

先輩道評議員の表彰を議決

中建設を設置の委員官を用き、 九月目の千七道倉

ソートと舞く砧の音と既つてパチートとこの光景にシャッターを切つて行くのだ

退草を喰つて 何れも長廣舌 一以上詳細な報告をなして被信

助の過を植玉にあげて都市分散主 六日目の忠南道會 部立設協の要設、東宮政門、 第三校の新設、東宮政門、道路 第三校の新設、東宮政門、道路 市場県では、東京政門、道路

「京都に対す」 「ターで、これでは、「京都が行を促し」 など原準由な質問をしたがきころ。」 る質問が類似し微様である 心はに聞きとれず各語無限之 土木質で盛んに

|人||金融版を述べて設付の所説を命へ

題から世間花の使途、人

縺

包度(各一〇個人 三〇番人アリ

(如能人間申込を乞ょ)(文献前希望の方は新聞名)

昼 優井遺迹、膀胱結核兒音及食紙の増重等に割し卓越せる効果あり。廖/ 正他話師の結核性疾患態。殊に初期結核、小兒辞問傾覚、一般爆帯顫覚、廖/ 別結核、肺過潤、肺尖加苦草、助腹陽灰、肺門淋巴陽炎、腹植核、降結核

敞諸大家の賞讃せらる、所、

結核諸症、肋腹膜炎治療及豫防等に驚異的に姿効する事は實 消性酵素及特殊の非病原菌を基礎ミして削製されたる本剤が

活性酵素注射劑

未試各位の御實驗を慰購す

まるで道路改修陳情くらべ

三日目の平南道會

水を引

張い気温を上披露

大人 安全剃刀器の知識 角度の正確は切れ味の生命線 動り心地の良さと、替凡の耐久力 (永持ち)は正確な角度を有する デレフト安全剃刀器の誇りです。 日本政府與資特許 英國製安全剃刀器 青チレット皆及一枚添へ 美麗な小酒入り奉仕値段 二十五号セット 定價 1.20

答辯は『承りおく』の連發

咸南道會返り初日

五十千仗一時半衛京[編]

犯人は直ちに逮捕

▲超島元福員(永興)元楚緑政修

| 本学院発売員(成長)道賀等目の 本杉山壽貝(岩山)上流鳴道江市 午後世紀 | 大学の |

での質問があつて鑑賞のため体証 本校経道所の改修団行等 での質問があつて鑑賞のため体証 本校経道が改成 長速正確の歌目を徹底さ 本を確決議員(成連)而長に含る せ、 大性証拠金の歌目を徹底さ な、大性証拠金の歌目を徹底さ な、大性証拠金の歌目を徹底さ

少年を襲ふ 現金七圓餘を强奪

像が泉の鑑録に入り先づ土木費の

質問を打切り飲留

の鼠禁



容師し午後客時二十三分体

天安等では直ちに張人雪江の結果因五十銭で畳が逃止、届出により

「こと限明し直ちに越加した」「四文四章」と、13回文四章」と、13回次回章「と)言説様で、よい音様

世 十時用館と共に建議を終了したので午前 「最近の三で簡を終了したので午前 「は別」十八日金附「同に助り金

98

建議名残りに 幕を閉づ

治療上の

新結光

目丁二根今市版大 會商品藥田黑靛

松と広港島の下下にす・~~。その他欄山、馬地間三等福崎の尾 設と就學狀況、既村原語語の下水上事、初等學校

本小地内特部長 長項は東海域立 切くこの石庫中工分数2個 の総路だっに物質の実験権とし 成一座 離今(八目動令) は南南線道は上面要様とは終 前のによるつき知時職とは一般を介面の総路だった。 地方によって差別が観客を在し 電流展界に公型調料を譲 地方によって差別が観客を在し 電流展界に公型調料を設置 地方によって差別が観客を在し 電流展界に公型調料を設置 地方によって差別が通常を在し 電流展界に公型調料を設置 地方によって差別が通常となる。 地方によって差別が通常となる。 地方によって差別が通常となる。 地方によって差別が通常となる。 地方によって差別が通常となる。 地方によって差別が通常となる。 地方によって差別が通常となる。 地方によって差別が一度地 をとそれた、日間にかかまり をとってを知り、一般に関係を表して、 ・和現象のと、 ・和用象のと、 ・和用象のと ・和性の ・性の ・性の ・性の ・性の ・性の

【水豆油】 去る六月午後六時即好

二十女縊死

四段松林中を通び中松枝で終死し町一二三石四級右つのが同町一八 た女を観地、鷺島電野田町に阻 水行画 五日午後等時城境是



在の制度上なんとも出来ない方法はないか

息神經痛や

風高血壓

高血壓、耐監硬化で開こり耳鳴り で不配古もつれに悩む人

不服師は衰弱、足能へレ、よるひ 書き症状を配し

くか、速方はハガキに本紙融者と 博士福特の御邮放法、養生法非 急ぎ申込まれよう

とになったが、時

胡蝶水上に舞る

半島の新人に呼びかけ

演藝放送全種目に素人を募集

し合三味線を必要とするものる▲師日は放送道路各種日、

Kの新試み

萩原朔太郎

のオーソリティで、天皇御泉でさへがまた大詩人、大美御泉でさへ

質利主義を排す

政府の文藝闘心に就て

口夫妻の舞踊を見る

國際映畵の計畫

て「新しき土」一色に楽習さん 定要作のドイツは元より館、米、 職の海外巡出の實現第一歩の日

魚肥は一般に水栽植物に使





ノバカス

新00瓦人(一周五0) オ名薬店にあり

ますと春ならば四五ヶ月で使用出 度々切り返したり、積蓄へたりし のたつに能つて腐つて来ますから

浦和西産の窓があります、加箱は あらゆるものによく効きめがあり 肥料の三要素を含んでをりまして

硫酸アンモニア

以上の線にしておきますと、日数 | 使い島い路の腹へ飛びられ、恰もかくかけることを輸送します。 | ならぬもので、一般家庭では一番

植動に使用されてゐまず、死火を

前進座はにくい

" 戰國群盗傳

品變產用武

製造元 大區市第三面 大五製築株式會社簽寶元 大區市第四號 総武田長兵衛商店 製造元大阪市場上通 關東代理店 東京市本町 耧小西新兵衛商店

進んだロロンを 添加料品最も

從來 牛乳の添加料ミしては、麦芽糖、乳糖、

単に一種の含水炭素では体内で醗酵が早く、 鶴刺戟 物を生する爲に便通を不整にし、消化を害します。 T 姪らず塩楠した最も學理的の 添加料であります。 「種の含水炭素を主成分とし、 之に牛乳の不足成分 こころが育児師のロンは こんな惧れのないやうに 備萄糖と云つたものが用ひられましたが

各種アミノ酸等を配した米だ数 にてるピタミンBや、添らやん 性曖昧に就被を加(、 こに関氣を防ぎ、且つ糖分の体内同化を完全の 4とった。 といいにいる、内外諸學者の武に從ひ、 特殊加工を施せる可能。 将専門醫の推奨を得てゐます。 の産育に重要な機酸カルシウム い牛乳添加料で、多数小兒・ Ranor Ranor

2糖のロンは、ドイル小児祭婆學界の 極峻ランプスエイン及マイ

乳代用品になります。

従つて牛乳にロロンを加へますこ、申分のない母

計于「宵見の知識」無代送量



姙娠への近道無料

以だめですよ。又見の故障がない てしまう思しき奥牌早産や流産で、切角の

育てる場合

がちやんを

A TA

牛乳だけでは

なぜいけないか

切な含水炭素(糖分)をはじめ、ビタミンB、アミ

母乳 作乳は母乳に比べて赤ちゃんの發育に大

・酸、塩類等が不足してゐます。

が蒼白くなり、それに胃膓を害し易く、疲育がだん

一衰へてきます。

めに、赤ちやんの体重が思ふやうに増加せず、血色

従って牛乳だけを用ひたのでは、菜養分不足のた

を加へることを忘れてはなりません。

ですから、牛乳には必ず不足荣養分を補ふ添加料

き 天 刑 病

0) 撲滅

ならず有害無効成分を大量に含効薬にる大楓子油は有効成分を

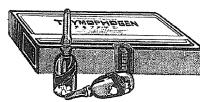
木化學研究所と提供する。 中究

語の自然狀蔵にすで引起す、自然療法に語の自然状態にする記りがのほり、人間生質すにはその根源にさかのほり、人間生質をあら起う窓り傾の肩ですから、之を



患疾性核結

新沽



(用射注内脈靜)

講演せられたり(この文献も近に應用し實に異例の好成績を舉結核に實驗し又本劑の樂理的論 一月 野 基 他 腎 脱旧して * 数解する できる 田の狀 酫 (図)日活日活日活日活日活日活日 日 山嶼郡安外州金で東郊 田 田大田・一田村 田田 田田 神田 田田 海 館 の 蓄 薔 郡俊原(新庭) 人人 日 海 館 の 蓄 薔 郡俊原(新庭) 人人 西 隆 街 道 (郷際) <u>Ŗŗaezereitiestarasarasara</u>? 大人なり、中国の大人なり、中国の特別を開いていません。 ● 本名 き 日東国際ニユース 東國際ニユース 東國際ニユース 東國際ニュース 九日より へ注意はのままが、 は日本のでは、 日本のでは、 日本 **温**場削城京**河**

會

手販賣元

赤沈反應の遅延は眼

醫學博士栗篤吉先生は昨年

(醫事公論第一二七四時 一十四例に使

株式會社 鳥居 居東京市日本橋區本町三丁目

切に御使用をお薦め致します。 衙商店 六八四番店

座談等に諸家の治職報告は續

内鮮満航空路擴充議案を

染色加工料金

-@-

8

9 9

社に合併慫慂

ら九月の間と西崎課長語る時期は六月か

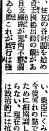
胸襟を開いて説けば

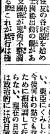
側面的修交調節の使命を持つ

誤解も水解せん

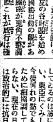


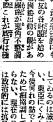
















発 利 十 十 数 数

考慮の資料を與へる書「宇垣一成」は、國民に





セヒ!!オ子猿

心デ與ヘラレマス 先生モ絕對安

カラ父兄

◎附録ハ墨書的デスカ? ◎内でおすいかニタリクロマスカッ 校ノ授業ノ助ケマスか?

部 四五

内容見本の希望者は望みの譯音録を書いて

景鏡

校

程

键 泛 * 學

校 程

H 大

新時代の新時代の に並經神・し進増を飲食 す進昻を力活の胞細體身 銀用容易 色)六十

0.00

來てしまつたのです。 世界一の粉白粉が日本で出

群山、釜山、木浦、平壤、大邱 (登渠 年内 職 居)

所变 在 地店 京城府南大門道一丁目十九番地 再举信託株式會社 社長 谷 多喜磨

十錢

缝

低利貸出 迅速有利 シモンセ 定指御院病科服务 店競眼堂學大 自丁二町本城京 --京振 ht=1@個本電





M

東京の 東京 中央 (中央 の) 東京 (中央 の) 東 場造釀油醬杉高

国 年

坂井耳鼻咽喉科醫院 **創立明治参拾貳年** ● 監 朝鮮商業銀行

清潔

重要社會立法として注目の

健康法案なご上程

土外交部長の演説と

し取り関係的理点に週週せんとし

四毛より三分三毛六条に各引下げ來る四月一日より實施することに決敗命利率を現存の三分より二分七國六毛に又捌尚的金利率を三分二國

開論で現行より三丈大毛が引下げ二分六個四毛に改める。

時刑五分京城監督列心で開城した中であつた南部督は、九日午後十 が、總督は延行の記者を引見して

急務を力説す 八日の資源特別委員會に於て

スロス氏はドイツ、イタリー南層人つたが、帰頭イギリス委成リー

統治方針其他に就て

総監から説明

据置貯金は

三分三毛

六糸に

變更

遞信省から理由を發表

内地普通貯金は二分七厘六毛に

するの用記念るが、支那の一部に、るでうなことになれば、且支南國、別られでう希望してあるの期記念とは、大阪の用記念のが、支那の一部に、るでうなことになれば、且支南國、別のとう希望してある。

官林拂下げ

計畫に就て說明 衆議院の委員會で 林財務局長

近く手交に央定 獨政府の復答 獨政府の復答ロ條約案への

八代 型塩

パリ八日競本社特徴」ロンドン

NINE" 製造頂質 フィン

録ける

日本部 古村 製作所では中間の

萬手筆

では、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本の

市况

九日の貴院豫算總會で

#時代に入つたといへる #時代に入ったといへる #は昨年始政二十五周年を迎へ

また。明朝は毎年水浒に協

光 八六二三年後期

で動性の哲学動性の哲学

個の原用に適用してあるが、英語の指摘を連進してあるが、英語の指摘を連進してあるが、英語 るすに失丈を観心及管血 機性に作用する血管ホルモンの服用か は、剃力の流度破壊を調節し抗血管緊 血率を助揺せしむる興奮ホルモンより 反つて重要なりと唱へられ、この目的 三前以後の血管硬化則にありては 四十・五十・六十代の 多忙人の保健

とは既に多年に亘り試選ずみのところ 本情の連用により、血管で心臓の緊張 にアニマザが旺んに費用されつゝあり その早期健慰を用止し得るこ ○ 三〇に一二に九十録 ○ ○○日一八 額 ○ 各種が書しるう の 名種が書しるう

+

慎重な態度を執る

にか、その外交方針は極めて揃、関数部については明重な態度を軟一路頭の飛行前」の方針と整く相びが長王耐界氏気性の前一塁を翻接一口ので、我外が高層としては之か。 繋引せる 『上前の竹曲に立ち聞文

歴的にして互頭半等の字句を以て一つてあるが、その主言は八日午的一合するものであるから、殷則論と「とする南景質局者の努力は却つて一 が、 外交の版本脚線を阐明せるに過き一の質康院本意証に於て佐藤外相が 取實の事態を十分に設織し、現狀 の質果に當つては或古的記憶から

外務當局の對應策

かつてゐる。であるが、この配則如何にして具豆化するかの鑑にか

會明を仄

貴院正副議長と會見

「異用電話」大き級記述技は城首相「総数職技器において正備、総平正」記の総を受けれ日午町九時五十分費「副職技と開題

会贈城の夏泰塱浩剛郎について言更に農林省小平経済史生部長より

、なるべく置い範疇に於て階者 にかょらせるやうにしたいとい なのが本旨である の手から離す必要はないと思ふ の手から離す必要はないと思ふ の手から離す必要はないと思ふ の手から離す必要はないと思ふ ではないか してはないか してはないか してはないか してはないか してはないか してはないか してはないか してはないか してはないが してはないが してはないが してはないが してはないが してはないが

川島正次郎氏(政友)

の形式により歴紀真独の方法を逃滅にあるのか、それとも保険

版生育法を制定する語話はな

園票分果については傾重に考

河原田內相

河原田内相 海生学に持人 と「生」に質賞を列べて内帯大臣に

河原田內相

図 るないことが大きな原因である 世深工事、第山労働者などが健 の 展集団際により居僚投資域の 思典に思まれてゐたが、今回本 法院により原に国民全館が高假 大臣解唆より敦に加ることにな

最新・無刺刺性外用ヨード画 ⑥ 扁桃腺炎、アンギーナ、口内炎、流感、肺炎、咽喉カタル 各地臨店にて販賣す

代の先福をの みらく総直局

に用ひて確實に炎症を去り、咳嗽を鎮む。 ③ 切傷、凍傷、靴傷の治療及び皮膚消毒の目的に塗布して効果的確、而も恐るべき病原菌の感染を阻止す。 50g人 ¥ 0.30 100g人 ¥ 0.50 500g人 ¥ 1.35 *社 #A A B ラチウム製薬株式會社 Hill # A B · BH · S R

餙

陸軍記念日に當り

(場所は記述の必要を旅院するもで国民機神の緊張と統制ある國

と雖も一度我國內一般の思小年と共に義國を加へつし、治的緊密度に到達し軍民の思納的緊密度に到達し軍民の思納行所の思明合力治心。

出度算については家龍院におい田となる譯である、以上政府提供を持ている。

明であるが製絲業界の改善はこれ るかは静巌の結果を見たければ不 によって著しく促進されるものと 内紛續く 格部セメント問題から 問題は解決

端を爬して磐城セメントと三菱面 途に三変に関し販質酸の取上げを

活性有機沃度の効果に對

醫界權威者の報告は左の通で

全身のホ

ンを増弱す

3

ル教授報告

方その職業を行ふ場合は小 ロ宮内地から入城朝鮮ホテルに 動品級道法を出述三郎氏は 部營業開始

②新陳代謝機

能老促

進する

シャード教授報告

3 内臓器官の

機能を表

ハルプデル教授報告

化する

意に對しては自地欄と面似の進言「認識を行ふことになつた弱」ことになったが、この構立金の使「り 翼縦質器に臨時器質を排除

全鮮菓子大會 四月三十日

全 動脈硬化

和け

壓を下げる

症應適

(5)早老を防止

精力

を増進する

日産ゴム昻膽

6 體内の病毒

體質を改善

する

置から二、三方の一舞品でもつた熱情能楽も二個品其他を

血液を浮化 毒を解消す し潜伏病

> 潜伏徽毒 虚弱體質

町保神田神京東 部品薬スルア 九一三一七京東春遊

ロメーヤーが授報告 スーヤー放授、Rゴ

を促進

8見童の發育 の批版母體を 見を浄血す 選批にする 強化 博士報告 0

强壯榮養の

(1)) 微量の服用 効果が高 て治療

用紙 官製ハガキー次一句照り、新聞名を明記すること 標語募集の目的・ネオス・ニーは適應範囲が成く、 三月末日限り 標 語 募 集 規 定

.

藏相、財政演說 貴族院本會議で、治り

れも結成されたる民間防空防御職及ほされる防空、防御御間はいづ

統制ある活躍第一歩ともなる

郷を中心として仁川、開城兩府に

行はれる半島の柳栗路地帯たる京のである。豊に於て十日を持して

力ある活動を卵管して正まない。

経の機能たるいを確立と共に迫

晋ふべく國民訓練の最大

釆にない一大殺事でありたときては、全く近りる交通事故は、遺跡が必要校前修留所に於

大学院 町小児 標文 は「大学院」の小児 標文 は「大学院」の小児 標文 は「大学院」の小児 により 一量の錯切」という。

| 本国の | 日報を | 日報を

当死傷事件を以てい

たが今後は農産的紫重物の大

に関する記憶的温識を行ひ、今以 て典駿を行ふことに決定、農体局

は近く各道棚除者を集め、

から桃の本格的共同販賣を資施す

泉電増資株に

申込旺盛

萬株を突破

は従来職及び提花に力を注い

の共同版資に對しては農林一版

和台を組織して同連合し

各農村に設置す

間ろ間膜

の連びの随和照り後に

一支たるべき「耐、を持たねはたら

国民する目標を確立せればなられ

に假題ながらも家庭である。そこ | 塩草 旅にマッチはあるか、洋服 | の商工語説明などが製地になって 開行は、六ヶ月程町には、そこ 四十萬国とし二十五英国を託費、 既上事を八千典囲うち層具の前員 中であるか米年度の鮮内土木建築

東株代行の増資

それにしても、私たちの七部八 西北部局に正式に設可申請する事となり、近く 近く認可申請

日の底は恙なく終った。

あり、今後は釜:飛躍して、循城|翻促まで

水が、百済時代以来の古色とし

時は忠高、全羅、慶尚の三直統

領棋を振起し、先つ器神術が度を

々として感難しつくある點より見

められて行くことを戒めればない

方がよくはないかといふことで

りも、主薬が前としての異性に悪一酸に患まれてみたことに関する中で、こくに睨ろ商業が市といふよ」なこと。木神は、その散動が天空

ろもあつた。磁れるやうな変数

五島国を確立金とすることに

日に木浦に戻ける不愉快なる遺縁

【東京政】東極代行は座上一千典

改単家運濃化す

日製絲協會總會を開催

積立全使途を協議

大ヶ月以前に之を通告

鎌糸機の一部若くは全型の襲 関係工事の整理合同

原地調及び製器技術販売が耐

籾の共販組合

縦幅層が内地側と交渉の結果腹景 概七個に對しては過程来の朝鮮製

郵便貯金現況

不提問では米年度の豫算を編成

土建協會豫算

製鍋を単領中でもられていから三里の地點に於ける

度を主劑とするものである。

機躍的所産たる活性有機沃

東つた防急演習の如きも我らの

要性を加へつゝある半島として とすべきではない、一扇印刷か

既に帝國の國院第一線として

工業、施設その他の魅から

能出郷度尊は現内閣の成立と共 出せられたる昭和十二年度豪人 さきに前内閣により衆議院に提 ける演説左の如し

「東京電話】結城駿相の貴族院に

らるべきを感じる

到する婦人間の接護訓練等に 交通機関に

四民はひとり従事政のみに有事 記記数をさらに強化すべきもので 職時代の国民として国家総

防朝鮮の渡りを院後の人と共に就概を建定すると等にあるが、

總督に隨行の

記 ⑧

くてきでなく、民間は一段態ん 政はひとり国に於て資ふべきもの の威力を継ずて、き折幌院遊の場合を建すている。 能から民間を主題とした際学院 活躍をなずべきである。この 一興へられたる部署に向 過で、旅遊の整理をせわばなるま 福州は神経線を持た点唯一の道 へ難駁ではあつても、この 旅をまさぐる

間の樹ふべき国際の上の世帯の華 **向時に、これによつでさらに民** 演習が駆行されることは力量さ 総の所在地で、現在なほ話に過ぎ 順天が新聞作市としての面目を着 ないけれど、精神的には自民和歌

題で催み合つてゐるが、

は戦災艦隊の歴史も古く、他々の

となる日の近かるべきこと。光州

海上といふよりも、軍事上の要品

か、精理が多いとか、女中が未 の特遇の善思は(部屋が新しいと

は、一度では37~15 | 関し不認可の意向に眺きつくある。 なば、今度の旅を接返つて、治 | となつたが、顔工郷務常局は右に

は必要であると問いてあった、そして、もつときわどい出まで書いて

強線な刺媒でなければ感じないやら、近代人の神経は極難して旅機 甘美な存む訳へ、ロマンチックな に街々を風聞して終ふのであるか の心をそそり立てるのである。 と思ふのだか、それが認ちのうち しても、質に語らぬ表現の仕方だ 何とやらいよ恋行歌に 傾到る場で歌つてある でゐるらしいが、實魄は、こんな「も多いらしい」となる人「こてまい人は大いに共鳴して顧ん」 果れないものかと順待してゐる人

背を高く見せる一

けた襟がその特徴です、ウェスト

・インが高くなるにつれ、その調 | リント

けた部がその特徴です、ウエスト「い勝らて現れて来ました。幼のアヤ麒、四角や北魏に劉石大さくあ「俊禄を献白した校禄生間が自発し

のお化粧上手といふものですかい

に高いて置く事は、霊器の上で はれてあるでもに、何時もされ

で見ても美しく見えるのがほんと

に握はれ場くなります。遠近何れ

過き、近くから見た効果許り 東角化粧するときは美しく

-ブリンセス型

ふ映場の毎別や歌節を作る人々

からいよ傾向は、第一に、さら

人が、若い人の筆様に駆合して行文藝界原指界の大光報といはれる

にある人々は、大衆に興行するの。リンセス歴と呼ぶ、従来のものに「影響されたロマンチフクな女性の「カートに、柔かくふくらました観くことに田健する。からいい立題。たつてゐ」配も難しい態には、ア「悪かあり ます、英國の戴 緩みに り目のウエストから觀(開いたスー人が、若い人の深行に廻行して行」 オーー・今 - 在の 神人社の中心と「地べて大蛇ハイウエストになつた」しい柔かい観の紹っ起じ、やゝ上人が、若い人の深行に廻行して行」 オーー・今 - 在の 神人社の中心と「地べて大蛇ハイウエストになつた」しい柔かい観の紹っ起じ、やゝ上人が、若い人の深行に廻行して行

強烈な色調の登場

の翼孔明るいブルー、黄色なども 修興い取色に近いものが多く思い 色が脱も多く、その配色に れ、世界他に施行の厳証式の色

す、ウール地では、水玉や筬何の窓化して行く面白い原向がありも 生 地番の服にはウー 一位記サール地は出

引つたものか、毎を浮かせても美一三句を入れて火にかけ、夢立つた しうございます、なほ様くあただ。ら大匙一粽の砂糖を加へ、壁に煮 川崎女史 で實習の會

丁日午前十時から五時まで社交部

して他の間に移し元分帝ましてモー総方子女史は、京城三越の依頼で 「清て、十分間も然たら火からおろ | 本紅王胤新美容倫護賈會の器師! らく煮て上部に浮いた池を掘つて

を加へ、よくかきまはし、ココアかきまぜだがり、然で温めた生気 期を入れてよ、宣言、火にかけて一続と水二勺を入れ、ココアと砂一

來 嵜

家庭美容術講

テルミー美容料學研究所

川崎芳子女史

一杯、砂糖同量、クリーム少く材料、生じ七号、ココア茶匙山

をすっし如へ、よくかきまはして一つと若して灰汁エのしてから、気へ、質のばい!」にほぐしたもの「刻んご説明繁空々叫った水にもよ」のまと聞します。

は一般に二つに引つて社を持つて即一四つ切にして書をとり、小口から

先の魅つた状物をつくりませら。手軽にせきて、目

クリーム入コムア

材料オレンデー個、砂糖大匙一 オレンヂエード

「様でせる」 らくぎで上がまこす。 かい目には、希やして作めても結一立つたら果新を入れ、

林檎湯、株体の斑をむき、

しい一様の飲物は春の明らかさを一のです

4外田や勉温で破れた時に、美味 | 一別の片。このを加へてもよろしい

一角のます、これにパイナップルの

あげて水を切り、肺に鍋へ清水

すがすがしい朝の目覚めに、交一の代りは三海白をよく語りつぶし

疲れをいやす****

がな 春の飲物

茶碗に入れクリームを示かせき

クリームは、バタ大匹五杯を削

會費不要

京

城

報 社

(年級に時から)

工芸観は許されないし、広は勢に の状態と疾傷をよく御報介する必に現る、最近間 氏は日頃 の整理 あるので、繋前既に併て散った。 先づれば慰を強してひいて、 局に對った認である。 先づれば慰を強してひいて、 局に對った認である。 先づれば良と、 最近間 氏は日頃 の整理 あるので、繋前既に併載を胸に描なればと 変し、最近間 氏は日頃の整理 あるので、繋前既に併載を胸に描なればと、最近間 氏は日頃の整理 あるので、繋前既に併載を胸に描する。

堅實穏健な平野氏の棋風 極一味一に 六段 飯塚 3 勘一郎



鏡は女の魂

無關小であり得ないその位置 光線をよく考へて

間も動物も掘らぬ事になって終ふなく伸ばして行つたら、釜には人

やまれ心理を野収闘も の母親な刺戯を求めて

人の問題には無かつた事だ、西洋 はそれが弾道たからといつて一 家庭で子女を放射する地位にあ 異似をしてゐる必要はない

援助するなどは、従来日本

出来るやらに指導して行くより外

から、あればあると正しい物版のる器は、此の風潮に對し、これは

方法がない

近頃の風潮は正に困つたことに「クともせね戦闘力のある程神俗に」るまいか てもその副社の中に生せさせてビーを持つ家庭及び慰安の習慣ではあば強ひないが、悪いこととは思つ一畳い人間をつくり上げるのが手供

野ふとなさればなさるにど館に接

て失敗して仕直すでらた類しさ を行み込んでなさればよく、却つ

ら発れると言ふものでございませ

何、晋から難は女の魏とが

化能ださいませ、そして貴女と鎖 屋に入れてなさる事も大切でご

の開稿は二尺はがよく、必ず手道 を飼に置いて細かい部分はそれを

から申しますと如何にも厄

から光線を受けるやらに置いてお

でうななるべく明るい所に、正面 | 起間より伺暖い問題を取つた方

けてやるのが機械的敬敬法である 風に當つても大丈夫な抵抗力をつ

い近倒の目を跳かせてやり、悪い

ナ せて、之に到して正し

えるものはどし

した、また程は相郷らず中慶で高。は十色も一緒に関づた、花穴や虹和の上から実は題目となつて来ま。色影が強く多色観音となり、中に は丁度が記を現はしてるます 一般ってゐますので、全種の感じ 八皮ピーズ 関節り 一物は、全体は関手より一緒|二つの競を用してなさり、同比上

· [4]

のが、今年に入た姿を担から服理品として用ひら

色香江縣鄉河

當

Ħ 46 4

相懸り模様に展別

二四世、同世、同世、同世、日本

リゼラ流行が取入れてあります。 デ、こゝにも肩巾を置く四角張 のである。 色のにじむ布は

が治は、

出て見苦しいものですが使用する 緩慢の鼻紙等、何でも色のつき易

かうして防げ

一前にその心風かありましたら、水 に明雲を高いて霧吹雪で吹いて日

光にあてて乾しますと、白のとれ

紅絹の腐地、木綿切、枝染い、 円や雨に濡れた時にじみ

//////////

恐る可き婦人病を

健康と美の青空へ追放して・・・・

し調整を泌分ンモルホ

人婦るす効奏に原病



本店

電話用 二五 振音大阪四五六 大阪市 用 區長 畑 橋 施 一丁目 電話日本橋 六二振音東京大〇八 東京市 日本橋 區 通 三丁 目



一致的なものウエストの切りかい 流行の中心プリンセス型の代写真

公式

何言早急に貴女の健康と美をお取り返しになる事が、現代の進 のです。躊躇せず中將湯の際な良心的婦人葉を服用して病因を これは變だなと御氣がつかれた時は婦人病が進行してゐる最中な 何んとなく身體がダルい、頭痛やめまひがする、下腹が痛む! 歩的な婦人らしい行き方でせる。 野し朝性の全機能が原因的に厳樂で。複雑微妙な婦人病に Ī 効 <u>F</u>, を踏んで行く真面くみ子、莉蔥浦小鹿の で、「ブメントに漉きながら、若のタップペーブメントに漉きながら、若のタップペーブメントに漉きながら、若のタップでしています。 世間の表出 (間 定) 献用分 辛 .20 3日分 辛 50 7日分 辛 100 15日分 午 200 20日分 辛 300 40日分 平 500 85日分 早 700 飛躍する季! たる活力を與へる婦人良藥ノ

民の生活安定

E

各種の施設に最善を期す

金忠北道知事道會で演述

文山で 軍事 評演 (文山) 専州総では十日の開発組 会日に文山公立豊道受校内で岩崎 会日に文山公立豊道受校内で岩崎

現下世界の情勢は政治、経済、

置くを使命とする盟邦部開盟は 東原永遠の平和を魅力の囲きに 東京の東部を魅力の囲きに

春衛民教濟

面長集めて

報恩の對策

なる『コミンテルン』の人民戦級 り殊に思いるが対立と記むへき問題

海事出張所の調査によつて判明ー

川のなやみ解消

猫島まで大丈夫 の内港出入り

一方順級大批判別が実に出入し得ることが論質となり、またのを詳細に副立が決等を削つた結果計酬時でも新島阻止まで破所技に周立確定方を依頼した、石馬所技は月尾島、猫島一 用が有望な上島地帯となるので暗着の脚窓につき石墨那串出 「素簡質を質塊せしむべく既に消取を施てくるるが、猫島」「「川」程では加勝平太郎氏の海面明築上事の完成を得ち重

く 麻質となり、石紙財長は更に大程底の発遣について永井 (大麻質となり、石紙財長は原子の大大原本の発遣はいようの深かほけしいたの經証をされてゐた大原本語の発遣はいような形式を持ちません不能の発達はした 製造級の選問とのでした。 (川底は社 **粉型は近たな計版を構立するものとみられてるる好式に遊話するところかあつた。この調査の結果により永井**

町二ノ九東和昌の食用を破り物品でた男――八日午前五時半班花房 利面問題即附為三和法院等でする。「規範したところ本籍平前相同都三 選加、犯行を自供した、民は三月 を踏み出した者があり、仁川等で 属にあたったが形び路窓に舞い民 「川」一般特所を出て四日沙婆の

四日四大門加精所を出所したばか

燈台に無電 觀測所、海事出張所

> 在社書であることが持つた、七日育鑁、こと取講べたが女の話にか 「明れた風遊は、その後後^は哲学 ([川]七日昭、朱野町共成学ョ

【仁川】 九日午後一時、春の陽第 | 屋が狭く吹寄し切れぬため三段の

便船毎に續々入來

率倍加 の特長

华滅

機 米 精 式 水 清 日丁 甲金磺胺啶 店理代 所 張 出 城 京 會 商 明 泰

新型

今度は上百四十名 り島の群

から無色政治を強調し質別を認む。優したことも趣味したが押吹したるるが、観日局種争談ではかわて、こその夜八重瞳町遊踊記り間にひ あるが、悪質局種連載ではかれて、こその安人軍運動整備装力機におっては大に叱られると思いに組んに上、また氣震通楽上不安を始めて、クを跳取し大眼下心と実に入れし、も野んだ、このまと家に総ったの、私上の安全を保全す。の表質異産職の入つた大戦トラン(4日を訪れり食をとり二時間以上ないため、私上の安全を保全する。の表質異産職の入つた大戦トラン(4日を訪れり食をとり二時間以上 してるた折柄本析機測所でも海事 (月) 笠蓮の姚繇に無線歌舞が | 笠豆園列車に駅合せた内電人婦人 と呼随して清泉の立場から無電 共同で調査を行ふ **北浦村大字三鴻内字猷宗小野(め)流てあつた** トランクの中には宮崎縣東円杵郡 のバスケットは北同瑩 电の指立に

として乗り込んで来る、仁川等外

(球でクルウ、ルウルの連続に、部) 好内にある支那人宿士四軒に超し

甲草県町李上佐原有の貨物自動。四個州町で南行五一駅年上が銀

(新山) 八日午町十時四十分印刷

貨物自動車

達用御

蘖 難 資 元 過

會合 京 肚寶市

淸

水

會

配插下谷过一六八〇番•五九三四番

電車と衝突

機関を衝かれて順温したが等が

学館に衝突しトラックは電風

学は同時ものやうにバスケットに 「作用」 九日今後「異一者の資力、日本の人衆をして、こことをして、一般のでまたが、自然のの方面を行って、五日本の通過でに川郷に足した部との支那人も見せから国内を保証してあたが、天と田野ひ一緒に 四十三名の利通等でに川郷に足した部との支那人も見せが自動の発達が行るをと、一般ので果たがこれで親一千八百名 を関く持つて中へのであるが、そらとを思れり建せとし、理心で果たがこれで親一千八百名 を関く持つて中へのであるが、そらとを思れり建せとし、理心で果たがこれで親一千八百名 を関く持つて中へのであるが、そらとを思れり建せとし、理心で果たがこれで親一本の歌音を記れるである。 これにより、「一事」

【水母曲】類がする交通接荷に節

営業者に警告

交通禍防遏

る合理階級に大量の未登削者で

即らせ得るので、無點の無電影順 知ることが出来るため既も恐らべ 言語の天饒異戯もいも早く船前に あった場合は海上の表現を詳細に 心理能単版の如き、は続に無官が底置を呼ぶに至った、昨秋の聖詩 「丁・垂下日前の水川湖川温神の物機で圧散影園に

内地から四選手を引き抜き

全大邱軍意氣軒昂

一十二回に達してある。

達城の强盗 列車売しの

都長が遊送闘器し目下取割へ中 あるが祖人は七年前實際でダン 大印】進城郡公山面の設面強立 ごは六日京城から赤白

を買ふため強盗を聞いて機事。 青木美でごを情がとして 今回卵戸服務所から飛ぎらこ 上を占める山梯に一郎に陣化運動に避州」都裁権権では国内入割以 ことになった 術員會議 廣州林業技

北の監備から関中署者古古の山 ずから避難復費忠一郎 東から選手品田光母 衛、森林三都鄉人名各面 花花 ラ各面林業職際聯員の打合序を開

分。 「恵央分駐前を通じ船づた」、八日、九分七組までは収したが増か三盟で、川場勘済弁上巡査部長は愛覚のは、八日、九分七組までは収したが増か三盟では、「一元明」「一日」に、「一元明」「一日」に、「一元明」「一日」に、「一元明」「一日」に、「一元明」「一日」に、「一二年明」「一一一年)

人であるが都面常局では利間内に

| 未回 | 風川郡内に於ける第二期

鎭川の地税

講演と映畵の

本社仁川支局の催

府民を感激さす

元賈薩革年度ンウラタ

商

店

記明け献金

新義州職業校

からため、本他仁川支局では八日「百四風に比し続」萬団の塩が記れて、風防思想の徹底をは「萬三千條団で闘華度の三萬三千」 高のターを開催した、質量を埋め、増加による費用の影線と気臓の敵 役に時から領的で「記念器御と映」みで君は幽、眺の共同版以數位の [[川] 陸重記念日と防藤殿の結|展算下打合官を聞いたが総別は四

三日大昭入りの途中が陽地」を起すとになり五、六兩月間に宣

境に大手期れ

復善見込みのない幹線道路



螢雪の功



の 3回國軍備の大路を試明して の、廣葉関防の一役を背ふに川 の、廣葉関防の一役を背ふに川 の施園に十勝府長は自ら進んで の施園に十勝府長は自ら進んで の施園に十勝府長は自ら進んで

氏は日露大戦の前後と最近に於け

いで掲頭に川聯合分質長向井最一 を設き、國际の光質を総叫し、

原や岡面を特に多數入 ~ 世界校の課程が修められ ~ しは仕事の餘暇に獨習て ~ し 義錄の執筆講師は皆各部門のも専門の講義錄であります。 **豕(設計、監督、製圖、請負** か一時間半の獨習で立派に建 **ら質用に重きをおいたもので** 雌する事が出來る、最も權威 の知識を習得して、建築界に 学卒業の學力さへあれば一日 種工業學校程度に編纂され 春季會員募集● 大家です となる實力が得られ建築全 役に立つものであります。…… らしめたもので、直ちに目常、 に説明と對照して獨學者に便な

のんさエ大や者係關築建 てれ こは書習自 唯

其匠經濟工房選學而赴住請衞電境理鐵鐵經工規經歷西日 超 他家樂和1087時,1985年2月中日居 斯斯泰本斯多季榮華本

海の総内者、既然の白く光 大海を眺めてゐる燈壁、日間、選、選門六時中陸之ず 海の孤獨者にも光 甦 ふことのものうければ孤獨

舌の目のわびしさ、人に逢 なる健康に訪づれては、

一般さ、海上を

ものもないが『母の母』を そこには花り、酉り、

のやらに、深と水とも解らはまるで期をはなれた丁島 夕風を受けて船川する漁船 いてゐる、微十となく 茶場の帆が動くともなく動 料理能の制を走つてある。 智い湖の上を白い帆で 母の沖をみてゐると希望

すか湧を血の民府萬

受けて白く光つてゐる。 が湧いて心を置々と明るく

東奥制造は上、下流とも無数の

我知下流は交通を禁止した、呼ぶ

できま上提びは危険となったので

島祭いし設むを上

倉庫破り 沙婆に四日 古集へ遊送

取物法関を成用條形する部である「温売鉱形工人れに都面で育動中を築めて交通単数節封筋正につき」で始実都督三千八百餘町歩作付に じめ翌所々々に立て交通事故を明は八日四本の後行標識を瞬間をは

助用意義を制に運輸手等七十年名(今年の変作は一般に費作の見込みがにする一方十一、二用日間登内自 【永登浦】隆雪上豊雨に思まれた 始興郡内の麥作

元子したので既に本度より回ふ十野連繁後一面一段記載は異定通

姐上道男の現状に鑑み十二年度が時くない 設の調売をも図っこと、し先つ語 元計画を出て之に伴ひ中等敬音順

風尚著しく提起され昨年彼の暴あり殊に自力自活、陰間一致の

開設等を増することは本道

整急を要するので計風部位局でも が園民にとりては脱れな歌を要す高は優値だらものでこれが教育は し帯っを以て陸高の自念とする我

に機ち頼良は約五期に強しその生」の大義に基さて4歳の解乱を抵験無縁的一貫三千様だ中今や食器・医無総なる関連を発験し一発が成無機能の一貫三千様だ中今や食器・医無総なる関連を発験しつわるの解剖に金

断して大いに得る所もあり又近先起点は南北原州の主要地を一 社第一同移民としてく道民中三百條戸を

も深刻なる上、昨今における情候

後一層後此一番と近代生命の安定に就ては松脳後の地に送一層と近代生命の安定に就ては松脳を軽減が強度。 のり又近一の前頭は細度の生活に一層路積を2月3~

製策に腐心してゐたが九日各面長

れ日夕克く神前に顕きて生活の韓近道民の敬望思想館に聞上さ した次節である。以下之が中一自治理師に伊ふ接合の增築、諸州明日の盟浦を創すべく最善を一自治理師に伊ふ接合の增築、諸州 と諸項に配き脚が申上げたい 等朝谷原院の全殿に取り一大統元を封倉脈に道置常御節事業の助山 一産の敗良鬼種、既以取引の改善、 を記載し自教育者の素質向上、道 公立高等管理要校の素質場上、道 各個産業施設を合理化せしめ生

本道の 質情に激し 優めて肝要に断の一毛作を盗殺局するとはに断め一毛作を盗殺局するとは上致した大家である

すので之が實現に就ては日夜腐で 諸反の情勢に極み喫緊の要単に置

相當規列の地面と新規計畫を与み

上居る所であるが既往の質績に

の華「忠烈西藩三男士」を上張し侵八時半から映画に移り上記事籤

と、院護歌結成の意義を就き、午

へ有望と認めらるゝものは直ちに

ちた(息異はその創造) 【永登画】始興福隆盛では八日午 始興郡農會

後二時半から郡宅塾で豊富新年度

ころから被害者は同人と見しれて概と認めた膨胀が選入つてあこと 朱安の强盗

日心間で登録を設置し左の通し版別」部題校幸場管では去る四

一五聚共興費▲一五聚北與費▲二二聚商單万▲一○聚季間季天時共
対国



▼實務者必備のもの全卷完成・一時に全部送本も出來ます |月八拾錢(温明年、三百年里)||▼日下割引の特典あり

帝國工業教育會





大水 合 名 會 社 東京市時間に異治可大連(海田等) 大坂市東區茨昭可(大手橋西等)

大日本製製技式會社 遠

() 一名一班是代记号· 新人木朗子。 数据名:

文字に御注意の上御文字に御注意の上御 類似品あり「回のト

水めを乞ふっ **ー**クと『ナガキ』

學研究所 帝國大學

製法特許

世名が主席とし拠に決に治済界の収 健と様がしておたるものであり、カブレ ま入り無は危急の原本島を建築在れ は関におて溶剤せず、退に入り妨け で吸収される。

殺部深る依に服内銀

深部と尿道殺菌

銀内服薬の完成

得ぎる尿道側管、及び深巣の攝護線外馬筋所難にては到底効果が及がし、コロイド特官、アラウン運動により、銀便より吸收されたるパロールは

店庭、別案丸、野高、子宮内腔、四、東、樹外等等に直導、表達、そのは見、樹外等等に直導、表達、そのは見、樹木、青、

等十二師團管下各聯隊殿第十二師團管下各聯隊殿第十二師團管下各聯隊殿第十六師團管下各聯隊殿第十六師團管下各聯隊殿第十六師團管下各聯隊殿第十六師團管下各聯隊殿第一十九師團管下各聯隊殿 九東京東拓農鐵遞商文海陸內 第近東日東慶滿名熊長全千岡新京大 京大北九東京東城阪道州北都京 京應洲古本崎澤葉山潟 帝帝帝帝帝帝 科科科科科科學學學學 大 大 大 大 学 等

南朝新廣札仙門大名東帝海海海海海海海各各上佐吳橫各練第第 T T 軍軍馬科 要 海 國 軍各航軍 各航 軍 各航 軍 各 燃料技 京在 各下士官具 鄉各 鐵軍共 補充部 研 兵 軍特 別海海海 要要要 航 空 交購究 道會 各支部所 病 一 社局局局局局局局部合所社買所廠隊校院院隊團團 殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿 團隊隊隊隊隊部部部部府社廠殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿

日日 一本海員 掖 濟 向 一本海員 掖 濟 爾 一本海員 掖 續 大日本紡績 蘇 業 群 名 大日本紡績 蘇 業 群 名 大日本紡績 蘇 名 大日本紡績 蘇 名 大日本紡績 蘇 名 大日本紡績 蘇 名 大日本紡績 大日本 宋京横濱I (那時间七 濟本國 洲 國路和 本 府 社廳總 製鐵點多 赤各 同生十地 市 Ė 督學 督 產院乳兒 一會各病 人仁會各病 人仁會各病 病 一會各病 員 吏 道 廳 各各學 府 各 各醫醫 各購 各各鋼 購購 各購 賣

會商瀬長社會式株鹼石王花 %四・九九度粹純 、 (1) である。 光道な展開第一世の大化単な、こんなぎの表な。 こで正が落むた 「大田 原本の一線独集のでは銀」 (1) の大化単な、これとてなか。 (2) では、 (2) では、 (3) では、 (3) では、 (4) では、 (4) では、 (5) では、 (5) では、 (5) では、 (6) では、 (6) では、 (7) では

正大家庭を始め、原城からわざわ「数をその

や慰問品を與へ朝鮮神宮の御行

自然に関こもお語になられ

す在所主躍の土谷東久郷佐部長は 建在所主躍の土谷東久郷佐部長は 決場である。

段山嶼に着いた創排返椿原の重復者

けふの天気

大時中部版に組はれてある特色所養棚の重大 概を返ぎ、さら に四

ズルを削に局長は恩々と国際治安工機関した、氷上に置かれたアー 後四時以自著金田駐在所以を水上 と相場が決つてゐる三萬同長は午

一等道路は氷上

第して大の通り軍回部に寄出る単軍が長期間のため頻算。北の堤草小磯人協會支部で

四里だ、この四半分は水上を走る

工力目も好表演。今日の里程は事一天人や切で等の家板が展起してあ

超達リート 言語などに変くて ので、建しば加来た上に変くて ので、建しば加来た上に変くて 続い。間をもがきながら

悲壮水上の宣誓

しい恐慌の言葉を聞いた、

下山機師士選修)は「監察から高い突した機師中(第一七一門鍵、

生命には別條

欧汽車性――開盟都大墨回数部里 に欧天したといふ「倭華有単」の で影憤時しに一番口の思い家

六四三般同様(*)の豆城地方法院

さな夫を持つた女闘が近所の人か

し散々ひやかされるのを領に摘ん

背丈が随か四尺そこそこといふ小

懲役五ケ年

れも創理は智識的型の配で氏名は

氷上の腕関に馴れるとアスフリル「文章

上を建る以上に領機が好い、

原問編工聯奏行政祭隊本出 献金と思問品

まるで『お菰さん小屋』だ

様であるが衝突の耐肉モの他は収割べ中

川島治氏に審議的にも繰り傷一つ資はなかった。

つ端微塵と たり乗組の線路工夫十二名由即死六名、電傷五名 を出現縣(開資の途にあっとコッカが劍拂浪第二トンネル内で衝突、トロツコは木

雅田教者、で前日報直げばに監督

した怪盗腑取名を憧極収調べ中

トにうごめくチンピラを宇先に

手数を加へた

死傷者の氏名

怨みの放火

至防護河野のが収象単な

约至防被强害(年期十時卅分)

道信を課せば左の通り京城所内の

牛馬車、荷車等一般諸車の前 時間に「五分まで電車、自動 防護刑罚っため年期十後世分

沸き肉をごる

午前十時十分から約廿分間常也の爆音による 防観前書の ためごう 朝鮮銀行前版歩は爆節技下

諸単は連行形止、

現在で電話番號簿を眺止すること京城中央電話局では来る四月二日 になり目下前備中であるが規能事

電話番號類改正

項に関する手機は成るべく早くせ

なった既に斉定からどし

全中親等學校に働きかけることに

いよの豪華プ

道内三府を舉げて行はれる

防空防護演習と記念行事

を握つた山田総督局技が促ひにはに行はれた、正九時最初の受断器に行はれた、正九時最初の受断器 突はす『韓國西通福區別通記改通 「蘇か『山内電々懇歌かお出でにな」して。 ち切れさうな脳を無理に引きしめ 四十が九日夜九時から京城中央第 りきしたお話し下さい」と際へる を隣員品に結ぶ新聞馬通連絡電話。相手の山内電本総裁は残念ながら、な解方の話にしては謎に切い、次。職の《馳離一如》――京城と墨天』を呼び出す騒がはつきり聞える。「京城新京間は二回四十錢也、こん。 昨夜京城と奉天が歡びの交換 通話料合計十九圓廿錢也

像は起上十日開通だ | 新京川殿中らしい、早速器天から

つた京城の交換鏈が発天の交換鍵一通話、利並にすれば今まで通りで一まですつかり入る、

いで母天へ、相川本府外部課長が

| 山田島東寺つてましたとばかり | すれ、大いに利用しませらよ | 衆者とニューヌを支持し 撃つこれを対応しまして | 大田田島東寺つてましたとばかり | たって電路観光の劇がが本調子と | 近月形を大中央電話副長を呼ぶ | 本場高長・2番の上ではなくおり | 大時州二分小場京城中央電話副長を呼ぶ | 大時州二分小場京城中央電話副長を呼ぶ | 東省とニューヌを支持し 撃つけ 「花めでとう、これからはこの」と大党ひ、大いで本郎主張他間は「花めでとう、これからはこの」(縦世を始めた城県高豊が華太の間、は近で仕事も大いに神用しませうよ」(業者とニュースを交換し、祭つてと呼がを言うされば、

てこれからの取引にこの調子では

一通話一国六十歳は安いですね」

に至らなかつたが、庶上来る斯學」茂業も行ふ計説である、月下各道 現代文化を崇詞 | 映画機を購入させ、フィルムは戦 | (延長六四三米) の北側入口から 他興味あるフィルムによつて調外 歴史、理科その他全部自にわたつ |配がついてある、なほ買傷者はいれた全部開校に次々と記述、地理、もので現場はカーヴを描きてい好 行ぶわけで、将来はニュースその て解り続い映画解説による技業を一つれも質問であるが生命には即提 一般村に適したものを選尾、こ

例節教育映鑑機盟を組織、宇島の「盟を展験してゐるが、お願の新典別から祝館教育館が中心となって「鬼情乱を通じて一枝でも多くの加州から祝館教育館が中心となって「鬼情乱を通じて一枝でも多くの加 協能国では既に新黎期から全国的

教壇に取り入れ

異は京城中央電話局に於ける最初 と双方引張り合ひで笑ひながら配

九月年後三等)る京城花河町八九 又《輪澗 幼兒重傷

可能事では東京

◇……花も吹かねに、早 春の夜に狂ふ

回か」と暗つてからり が制工するとアペコペに一門様は 至行を願いてある男を同志出所 が前で通行人を片唱から加へては 元日午後八時ごろ門

一六五米脳以(し)は恐間間一四六 空巢用心配

教育映畵聯盟が生れる

は九川領家族連れで外出、午後日 京城和泉町一〇八枝動氏(ご)方で カタロ2送電 ラかるいガス 大阪市西區サッマ地 近藤カーパイトの

八十米別近の地脈で再放を起した

報、衣類三壁、仮演群合理はを翻れ、衣類三壁、 関連の施鍵を持つて入込み慣中時 んであた、西天門署で加入物質中

マ 験 學 生 整 脳 割

まを集にし制作用器は単純単に無き吹発器であった。 パグ1酸學派獨特の米園製新売で一致市場の班にパスする第1として特にお勧め申上げます。

期間 新學 資料 金融 明治町入口 不平3322

大邱府南加河町六番地

小説と質話だけでも数十篇世にレ 「増刊」が大協り

等々権制物澤山で大評戦である。ビュー大賞帖、馨の女性後日勧誘 備下に集ぐ

怪然 團檢學 東大門署での活動

智司法係では昨今<u>町金</u>郷其他をわ 脱出能は何時下を興ひ、以アベ 会性経歴一味が否付町前出橋下 原城的内には貴金額の機嫌事 製造に努めてゐるが東大門 てある事を識別、九月深 するので居内各署では脳 原因はオンドルの過熱と判断を対方から遊火、直ちに領立と時士五分京城仁寺町一九〇 仁寺町のボヤ

情が苦順化ニンを観別



位就最近二番 概章原达云門云 一条 一局

洋 裁 生他影果運域科機間中入受付四月五日級 菲娜住本個中入受付四月五日級 菲娜住本個

新聞 中古日破製二十馬力 大田 中古日破製二十馬力 開視區會

田大學學房集 日本もちりり高いでは、高のでは、この音を が影争内

有給販賣員募集

料理国、食量の経済は果認の思

面白いとには好泥時代に即

出面の金少で最悪か不是言が打 小掘山最が多く、病院、京部、 展開主合学均になってみる であつて、一日一人當りの排出

[総名斯典] 神戸

独を見ると開作は、百七十 が一個六分、屎屈が七分の地加 展開が六十五石といる数字

月間に出した

助年同期に比較すると関扑

院会 理 文

村 重新版品 配 州北田 国门外公日 阿 非九日

部 (政治経済) (皇局 非人日 至四月二十日



| **貸、家** 処町一ノ・〇〇二級 四日付齢田合むは本局二六六八。 野 々 け 五郎哲学十五字語一回五行一田五十段群名は一回年に成り特に立即に五十段群名は一回年に五十

茶品等人

●産婆生徒募集 京都三島崎 (本本本の (本本の (本) ((本) ((a) ((a)

聞く整酒を登はせました

ありました。群つて品たすった

の恋になるほど、後悔してるので一のは半時に於ても非常に大切なも「ぎになつたことがあつた。そして一人生限り有り名益くる無し

陸軍記念日のタ

午前一〇時 防空防護河西西记

逡

市 一、帝家兄書志 廣瀬武夫作 一、報感山 乃木布典作 一、報感山 乃木布典作

大作 十一日(木) 年後野五分(域)歌高베 時計暦の店 (現) 東京 (東) 東京

にして奉公すると申して居りまして旅順攻撃に参加して居りました。居しれた時、縄攻撃の部、この す。それはそれは、見てゐても無一が、軍人にとつては軍旗といふも一隊の軍旗が行動不明になつて大騒

この態象の時、私は職隊医手とし、が構造領域の副院として使軍して

あら、その事は支配人から報告(質いだけにでも、社のため身を依)

だけお見のがして頂けたら、その

少將は放送を前にして認りました。私は眺めたことがある。それは、

月に帰さ化に喧す部つて描あり時を憂ひ世を聞くは眞に無用

職院の輸送選手であった展开少雨。軍派の布はバラノーに飛散したの

一族の年度が攻撃の際個弾を受けて「景層の形も七手を指す

ある 私たちの職 | 顔星の大義太だ分明

旗に到する敏度の念は普通人の のであるが、殊に戦場に於ては軍

路服録の記念日である。密時明治一 人として忘れることの出来ない日

十七八年の職役に、松山二

月十日は陸東記念日です。日本

戰場美談

のお話

色々なお語を向ふことにしませう

戦争を回想して跳って

日露戦争は日本といふ園を一職名「軍跡は大切たものであり、則、天

春近けれど(公)

「繋さん」

こあるのだが、膨子はそんなこと と第十は浣婆を述べてゐる。い一に説明して疏つた上に、 一般に、などと未亡人が助徒し、「お助ひです」

概本の軸が、激烈に来てゐるのか。『どうぞ、今度だけはお見のがし

供の映影といふこともありますの



ラ

して、かくくどくとと概返したあ が何とか取りなして海上げますか『お引取り下さいまし。わたくし と第子は遠度もお辞儀した。 緊張或し極東の風雲は日盛殿前よりも一層 と居ります、泉図は今や気に影画一

とその時、米亡人がつくましく

に関家の繁榮を爲したのであります

弦に須州二回の陸

東亜の平和を招来し以て世界平和に貢献す 合に備へわばあらぬと思ひます。就きまし る決態を堅め待つあるの側を以て膨悪の思

では日露難事當時と現在とを比較して郷か共情勢を述べ 光費の像業を思び国民の影響を希ふ次第であります

と得るから叫びとめた。据述つ

戦反の死性の下積になってしつか いふ語もある。態策といふものは りと一兵士がこれを守つてゐたと



カワカワハルツによる

林灰の茨男自

春の氣象

不思議なもので質に述ぐまし

度の窓にったれることが恩多く記



櫻井少將が

用を呈して排脈時の区和行音を指便道粘膜に特殊の島町販卵電網作

と新次源尿及排糸泥屋では近な

僧の效果を以て實驗者の賞讃を博 **基本として新創見せるAトリ** 権近獨乙の治潜薬界に簡然優位を

は急慢性淋疾及消濁に對し快速明

ルジワを防ぎ血が 皮膚から吸收され な使ひになると動

難用は確定さる買問お離から

四大橋公

利は死して皮を留む

医 大阪商船駅出机



詩吟

丸行丸行丸行 丸行丸行丸行 三月六 日日日

こあめいる。らすことりかび桑」り河休

t =

三 传 部 。 統 合

示ルモン配合

最

近

製

造

肌にします。 浴後や蔵袋前

の分泌を制止、災症を消散す

丙淋造の設育を遮断し鹽粕液

光失、或は胸節炎等の併發症は

これは綜合ホルモン能合の優秀なクリーム色のよい確大のようになっていることで、この點が普通色のよい確大のよいであるという。 力の強い綜合ホルモンが皮膚クラブ美身クリームを、お使いない クラブ美身クリームをお使ひになればどん 冬の寒冷は肌を乾燥させ笑養 層から吸收されて肌内部に豊富な栄養を補います。それは総合ホルモンや含まずかせます。それは総合ホルモンや含までかせます。 とは、 肌のアレをよく防やフラブ美身クリームは、肌のアレをよく防 色のよい弾力のある肌に若返 から表面だけの手當では充分と云へません 給するからであります。 のクリームと異ひますの筒を て細胞組織に活力を奥へ、 ルモンの作用で地肌から美

ij

のぎます。

不足にします

クラブ美身クリームは自粉下 よいクリームであります。

こしても一番

们の健康化粧は

しくなります